

学園だより

Vol.81

2007.3
Nara Women's
University



大学構内の桜満開(総務・企画課 企画広報係)

監事の日線から見えること	1
岡 秀松	
現在・過去・未来をつなぐ	2
1969年と2006年で 大学はどう変わったか	香川貴司
『研究、教育そして環境』	見目正克
「あと一步、前に進もう」の気持ちを 持ち続けること	水上戴子
あいさつ	上野邦一
数字で見る奈良女子大学 (ナラジヨ・ナンバーズ)	6
寄稿 私のチャレンジ	7
金 真希・林 麗芸・倉上 京	
卒業生からの寄稿	9
心のふるさと…島田(旧姓 増田)亜季子	
今までも、これからも……	
荻田(旧姓 加藤)尚子	
意思あるところに道はできる……	
村上 幸	
学園だより読者アンケートの結果から	11
就職内定状況(中間集計)	12
クラブ紹介	14
学生生活支援	18
第48回佐保会奨学金授与式 外国人留学生による日本語スピーチ大会 及び学長主催留学生懇親会 奈良県インターンシップ 「廣岡奨学金」について 日本学生支援機構奨学金について 学生相談室から 学生表彰	

監事の目線から見えること

岡 秀松

奈良女子大学監事
（業務監査担当）



HIDEMATSU
OKA

2年半前、大学法人化と同時に新しく監事という役職が設けられました。「業務の合理的かつ効果的な運営を図るとともに、会計経理の適正を期するのを目的」（監事監査規程）として、「国立大学法人の業務を監査する」（法11条）というのがその任務です。法人化の背景にある大学改革をしっかりと進めるには、第三者的な目が必要である、と判断されたものでしょう。

私達（監事2人）が監査の仕事を進めるにあたり、今もつとも大切に行っていることは、「共同作業に伴うコミュニケーション」です。立場も経験も違う二人で、非常勤での仕事ですから顔を合わせる機会も多くありません。それだけに、情報の共有、意見の交換、判断のすり合わせには、最大・格別の配慮を心がけています。当たり前のようなことをあえて加えたのは、実は、大学運営に伴う多くの問題の根幹が、組織内でこうした配慮を欠き、本当の対話不足に最大の原因があると、監査の場から、私達が感じ続けているからです。

外から入って、はじめに驚かされたのは、組織運営における各部門の割拠性、閉鎖性が際立っていたことです。それぞれの立場からの主張が強く、その調整に追われ、まことに非効率な組織運用状況が見えました。現在、状況は改善しつつ

ありますが、まだ満足できるとは申せません。教職員個々の自覚が必要なのは勿論、トップマネジメントをはじめ、組織運用の新たなスキルが求められていると考えています。とくに、「報告・連絡・相談」（よくホウ・レン・ソウと呼ばれます。）のスキルに問題を感じています。形式的な会議は多くても、実質的な対話不足が歴然としていました。法人化後、組織は大幅に変えられましたが、運用面の課題は、十分には解消していないと思っています。

二つ目は、学問・研究について、多大の期待を持つ学外の人から見た隔たりの大きさです。悪く言えば自分のため、社会との関係は学会（私流に言えば、同業者間）だけが意識されているようで、「研究の成果によって世の役に立とう」といった気概を感じにくいことでした。大学人の中でも緻密に検討されている問題（阿部謹也『学問と「世間」ほか』）ですから、私の印象と違うことにとどめておきますしやう。しかし最近では、地域との関係などで極めて意欲的な取り組みもあります。学生さんの活躍も目立っています。今後への期待は大きいものがあり嬉しうかぎりです。

三つ目は、「自発的・自主的に考えるより状況に従って対応する」という消極的姿勢が目立つことです。企業人から大学

の副学長になった方が、「企業では社長と社員が同じ目線でプランニングするが、大学では自分の経験、自分の専門分野、自分の論理でそれぞれが語る。」（東洋経済新報：10/14）と、まことに適切な指摘です。企業でこれを行ったら到底生き延びていきません。「知」の宝庫でもある大学が、その組合せや加工に工夫と努力が足りないのではと思います。全体として、自分たちの問題に力をあわせて取り組み、解決していくこととする強い姿勢から、すべてが始まると思っています。

組織としての大学には問題を感じますが、社会の中の環境としての大学は、素晴らしいところでは。私自身、某大学で勉強させてもらっていますから、その有難味がよく分かります。社会の基本的インフラとして、大学に隆々と発展してもらわなければ、国民が、社会が困ります。『学びの楽しみには、年齢も時代も関係ありません。かつて「わがいのち月明に燃ゆ」（林尹夫）という戦没学徒の手記で、異時下にあつてのその素晴らしい勉学の姿勢に、強い印象を受けたことを思い出します。そうした思いで、これからも日々大学が学びやすく、楽しい場であると同時に、多くの人に愛され、親しまれるように、監事としても微力を尽くしたいと考えています。

1969年と2006年で 大学はどう変わったか

香川 貴司

理学部 教授
物理学科 基礎物理学講座



TAKASHI
KAGAWA

1969年5月、札幌から青函連絡船と特急「白鳥」を乗り継いでほぼ丸一日かけて奈良女子大学に赴任してきた日のことは今も鮮明に思い出す。大学紛争でこの年度は東大の入試が中止に追い込まれ母校の北大では本部が学生により占拠されるなど大学紛争が全国に拡大していた年であった。

奈良に来たときは何もかもが未知の世界へ飛び込んだ感じで、最初に受け持った科目が「物理学実験」と「量子力学演習」。若輩でシャイな性格な上にミニスカートの流行り始めた年、学生の皆さんの顔を直視してしゃべった記憶がない。大学へ来ると正門には机でバリケードが築かれ学生がストライキのためスクラムを組んで陣取っていた。その中をかき分けてどうやって通ろうか思索しているときに老練な教授が来たのでその後にくっついていってやと通り抜けた。団交では、まくし立てる学生にも尊敬語が混じり、対する教授側の「暖簾に腕押し」のような丁寧な言葉遣いは品格を失わない女子大の雰囲気であった。

この時代、学生や若い教員は大学が大きく変わるかのような錯覚をもっていた。しかし、大学は変える素振りを装って形だけを少し変えたが中身はほとんど変わらなかった。むしろ、変わったのは学生の方で、この後日本は高度成長期に入り

学生運動は専門集団化し一般の学生は熱も冷めて日々の生活を楽しむ風潮に変わっていった。ベトナム戦争（1975年アメリカの負け戦で終結）、ソ連共産主義の崩壊（1991年12月）と海外での変化もさることながら、すべてが右肩上がりの時代が持続するかのような日本状況の中で、実は、大学を取り巻く環境は大きく変わろうとしていた。このことに大学人はあまり注意を払ってこなかったと言えるかもしれない。

ところが最近の大学を取り巻く環境の変化は驚くほど大きい。大学は改革・改革の掛け声で教員への意識変化を加速させようとしている。私は、文明の崩壊や衝突がその後の世界をどう変えたのかという歴史問題について興味があり何冊かその手の本を読んだことがある。その中に文明の衰退は、それが熟成の域に達したとき人々のこれ以上努力をしないでもいいのではないかという気の緩みが衰退につながっていったという解釈があった。

例えば、ヴェニスが衰退したのも、繁栄を謳歌した人々にとってはあえて地中海を越えて外洋へ航路を開拓し発展しようという活力が湧かず、ポルトガルやスペインの時代へと移っていったのである。今は、大学も外界へと航路を開拓する新しい時代に突入したのだと思う。大学の役割は優秀な人材育成と新しい知

の創造でありそれをどのように成し遂げるかという新たなシステム構築には、スタッフの努力は言つに及ばず学生の皆さんの積極的提言が重要と思う。38年前の大学改革運動の主役は学生であり若い教員だった。

38年もいたこの大学での私の研究歴については理学部50周年記念で講演させてもらった。よい意味で闘争心と向上心を持ち続けることおよび流行に惑わされないということを中心に心がけてきたつもりである。試行錯誤を繰り返して忍耐強く続けてその成果が得られた瞬間は誰もまだこのことを知らないのだという誇らしい喜びがこみ上げてくる。学生の皆さんにはこうした喜びを積み重ねて飛躍していつてもらいたいというのが私の願ひである。



『研究、教育そして環境』

MASAKATSU
KENMOKU

見目 正克

理学部 教授
物理科学科 基礎物理学講座

1975年春に奈良女子大学理学部常勤の非常勤講師として、次年度に助教として着任しまして以来31年が経とうとしています。私の研究分野は素粒子理論物理学で、大変に競争が激しい分野です。この様な状況の中で、公募でなく国立大学理学部の助教として着任することは、私の力から考えまして大変気が引けました。しかし、私の就職に関与された先生方のご尽力などに鑑みて、着任させて頂きました。私が微力であり又方法などが通常と異なり、いろいろな面にわたり多々ご迷惑をおかけ致しましたこともお詫び致します。

一般的に情報量を導いたのは我々が最初であり、少しはましな研究であると思っております。ブラックホールの研究は、非常に多くのブラックホールが観測されていること、および素粒子論と宇宙論との接点になってきていることなどから、今後とも興味深いと思います。

さて、素粒子理論分野では研究内容と共にスピードが要求されます。私も先端の方向を向いてはいたのですが、研究が追いつかず、人が遣り残した事、2番煎じの事などで論文を書いていました。1993年頃から、当時同じ研究室に居られた岡本裕幸さん、帝塚山大学の重本和泰さんと素粒子物理学に基づいた宇宙物理学の研究を始めました。最近になり、インドのカマルさん、重本さんおよび大学院生の石本さん、小林さん達と、ブラックホール周辺にある物質場の情報量の計算を行いました。ブラックホールの具体的な形に依らず

次に教育について学生との交流の観点から述べます。奈良に着任当時は、教員と学生が一緒になってよくソフトボールなどのスポーツを行っていました。これは小さな大学の良い点であると思っていました。だんだんに外でスポーツをする人が減りました。これに代って最近、「青少年のための科学の祭典」や韓国梨花女子大学との交流などを教員と学生が共に行っていきます。これは新しい良い方向であると思えます。



2006年5月 韓国梨花女子大学訪問

また環境と健康については、奈良に着任いたしました。初めて禁煙を試みましたが、タバコの吸い方には、喉まで吸い止める「ふかす方法」と「肺まで吸い

込む方法」があります。ふかす方法は、習慣性とならないので止め易いです。肺まで吸い込む方法は習慣となると止めるのは簡単ではありません。私は原因が肺にあると認識し、タバコが吸いたくなったら深呼吸をし、肺に良い空気を送り気持ちを落ち着かせ、これを繰り返すことにより止めることに成功しました。奈良女子大学では、高橋裕子先生を中心として禁煙活動に取り組んでおられますので、参考にして頂ければと思います。また、大学院時代には車で大学へ通っていましたが、奈良に来てからは四季の移り変わる美しい奈良公園を自転車で横断して通勤をしています。奈良女子大学が、環境や健康面においても社会をリードする大学であってほしいと思っております。



2006年11月 4回生卒業写真へ走る

最後になりましたが、皆様のご支援で奈良女子大学での勤務を行えることができましたことを、大変に感謝いたします。

「あと一歩、前に進もう」 の気持ちを持ち続けること

水上 戴子

生活環境学部 教授
生活健康・衣環境学科
生活健康学講座



TAIKO
MIZUKAMI

私は昭和三十七年四月奈良女子大学家政学部食物学科に入学した。今は正門と記念館に当時の面影をとどめているが、大学の風景は現在も大きく変わりつつある。大学を卒業後、発足したばかりの奈良女子大学大学院家政学研究所修士課程に進み、縁あって非常勤講師に採用され、今日まで四十五年間奈良女子大学にお世話になった。微力な私が定年まで続けることができたのはひとえに皆様の温かいお力添えによるものより感謝している。

この間、二度の学部改組により「家政学部食物学科」から「生活環境学部生活健康学専攻」へと私の所属は変わったが、一貫して、学生時代に興味を持った「栄養学」を専門として教育・研究に携わることができたのは大変幸せだったと思う。時代は移り変わり、今や健康ブームとなり、栄養に関しても多種多様な情報があふれている昨今であるが、いつも正しい情報が提供されているとは限らない。他の分野においても同様だと思われるが、栄養学の分野においても新しい発見や研究の進歩に伴って、健康に関する栄養に対する考え方を変えざるを得なくなることや、次々と新しい問題が出現してくるので常に学び続けることが必要である。その意味では今後も、健康に関わ

る栄養や食生活についての興味と関心は尽きないであろう。「あと一歩前に進もう」という気持ちを常に持ち続けたい。

先日、「専門職論」を担当する機会があり、最近の大学生の職業意識や就職事情を調べていくうちに、改めて最近の大学生が直面している就職状況の厳しさを再確認した。学生の皆さんには、こういう時代だからこそ、もっと貪欲に学び、大学が提供する学生のための種々の企画を最大限活用していただきたい。「少年老い易く学成り難し」を実感するのはもっと先のことだが、「あと一歩、前に進もう」という気持ちを常に持ち続けてほしい。奈良女子大学の未来は卒業生の社会における活躍と在学生の皆さんのためめ向上心に委ねられている。

最後の三年間は、国立大学法人化と共に従来の文学部附属から全学附属となった初代の附属学校部長という貴重な経験をさせていただいた。皆様のご協力を得てこの三年間で大学と附属学校園との交流・連携はこれまでより全学的にかなり進んだと思われる。また、各附属学校園間の交流・連携についても年々進んでおり、特に平成十八年度に三校園合同で文部科学省の研究開発学校の指定を受けて以来、様々な活動を通して急速に交流が深まっている。

本研究開発課題の中心は「幼・小・中等十五年間にわたり、独創的でねばり強い思考能力を育成する」というところにあり、まさしく本学附属ならではの研究課題である。さらに幼稚園から博士課程までを備えた本学ならではの取組みが大学も含めて大きく開花する日が近いことを願っている。まだまだ課題が多く心残りではあるが、今後の新たな「あと一歩、前に進もう」を実現するために皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

大隆の天女花 オオヤマレンゲ



あいさつ

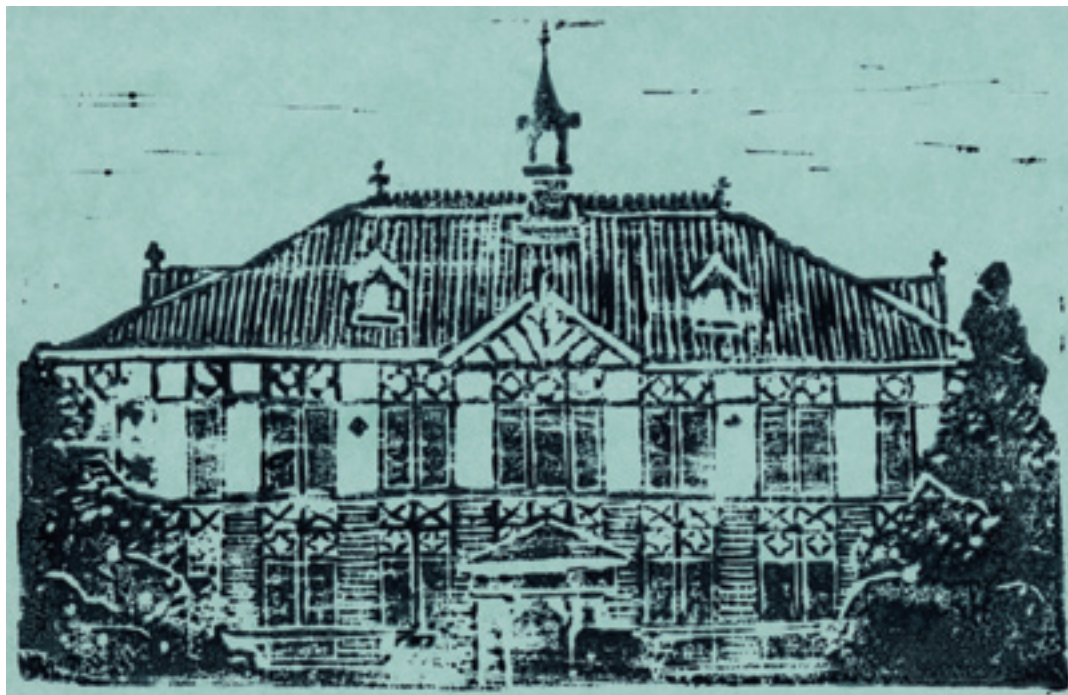
上野 邦一

生活環境学部
生活文化学科
教授



KUNIKAZU
UENO

皆さんの
前を向いた次の一步に期待します
ありがとうございます
そして、さようなら



記念館（上野邦一画）

Nara Women's University NUMBERS

ナラジョ・ナンバーズ

■ 正門近くのメタセコイアの木の数：**2**

■ 大学キャンパスでしばしばみられる
ヒトを除く哺乳動物の種類数：**4**

■ 附属学校、寮などを含む
大学の土地の総面積(m²)：
178,059

■ 大学の事務局を除く附属機関
および教育研究施設の数：**18**

■ キャンパス中央の池の縦横の長さ
(内のりm)：**20と9**

■ 大学の建物で一番高いところは、
地上から(m)：**24.9**

■ 平成18年度の教職員391人のうち女性の数：**119**

■ 大学公認のサークル数：
体育系**20**、文化系**19**、音楽系**8**

■ 平成17年度、体育系クラブ・サークルによる
競技大会での優勝回数：**4**

■ 平成18年度の留学生数：**119**

■ 平成18年度の留学生の出身国の数：**13**

■ 学生寄宿舍の収容定員：**340**

■ 学生寄宿舍入居者のうち1回生の割合(%)：**21.3**

■ 学生寄宿舍に入居している留学生の数：**32**
(+国際交流会館に31)



C.Y(文学部 2回)



C.S(文学部 1回)



C.S(文学部 1回)



C.Y(文学部 2回)

■ 平成17年度に警報で、全学休講になった日数：**0**

■ 40年前(昭和41年)と20年前(昭和61年)の
授業料(円)：**12,000と252,000**

■ 附属図書館の入館者数(平成17年度)：**129,122**
(学内128,606、学外516)

■ 附属図書館の平成18年10月の一週(16~22日)で、
最も入館者が多かった日と少なかった日の入館者数：
638と53*

■ 平成9年から行っている記念館の
一般公開に来場した人の総数：**38,113**

■ 全学の学生が利用できる共通の
パソコン数とプリンター数：
72と2



C.S(文学部 1回)

■ これまで、学生交流協定を締結している
大学への交換留学生の数：**54**

■ 学生交流の協定を締結している外国の大学数：**24**
(大学間22、学部間2)

■ 平成17年度に発行された学割証の枚数：**8,336**

■ 生協購買で夏場に売られている
アイスクリームの種類：**30**



C.Y(文学部 2回)

情報源：インターネット、聞き取り、および各部署の資料による。
*日曜日開館(試行、午後の4時間のみ)

アイデンティティを求めて

MAKI
KIMI

金

真希

文学部 人間行動科学科
教育文化情報学専攻 四回生

私は在日韓国人三世です。私は小学六年生の時に本名宣言をし、それ以降はずっとと本名で生活しています。中学二年生の時に初めて、韓国へ家族旅行で行ったのですが、その経験が私の中で自問自答する契機になりました。韓国語も理解できないのに、韓国人である自分は一体ナニジンののだろうか——。それから私は、韓国語を学ぼうというより、学ばなければならぬという使命感に駆られました。そして大学で、韓国語初級、中級を受講し、二年間で基本的な文法と文字の読み書きを出来るようになりました。

ある日、韓国語の先生に「留学する気はないの？」と尋ねられ、私はそのような選択肢もあると真剣に考えるようになりました。予てから、母親も留学には大賛成でしたし、今考えてみると私自身、留学生生活

梨花女子大学に入学した初日



の不安から逃げていたような気がします。しかし、このようなチャンスはもつ二度と無いかも知れない、今、留学することをよつて私の何かが変わるのではないかと考え、韓国の梨花女子大学への留学を決意しました。

留学生活は、私の想像以上に私自身を成長させてくれました。初めは、言葉も拙く、会話もままならないためどこへ行っても日本人扱いされ、在日韓国人だと伝えても不思議な顔しかされず、悶々とする日々が続きました。私は、祖国



仁川 (インチョン) にある善鄰門の前で

である韓国で韓国人だと認められないのに、何故、日本で、本名で生活しているのだろうか——。もう帰化してしまおうか。そのように考えると同時に、何とも言えない悔しさが込み上げ、私は必死で韓国語を勉強しました。語学を獲得していくにつれ、韓国人の人々から自分が受け入れられていくことを体感しました。留学で私が得たもの——それは、「私は在日韓国人であり、在日韓国人として生きていく」という明確で、揺るぎない答えです。日本で生まれ育った韓国系日本人と解釈し、今年からは小学校教師として、子ども達と共に成長していきたいです。



留学生メンバーとのお別れ会

日本での留学生活

Li Yun
Lin

林

麗芸

大学院人間文化研究科 博士前期課程
物理科学専攻 一回生

中学生の頃、私は学校の先生に憧れ、中国で最も有名な師範大学に入りたいと思っていました。目標の大学に入れませんでしたが、夢を持たなければ生活にハリがなくなると思い、別の大学に入学し、卒業後故郷で先生になりました。

しかし学校と家を往復する生活のなかで、もつと自分の世界を広げたいと思うようになりました。そして身近に感じる先進国・日本へ留学し、自分の世界を広げ、いつか中国と日本の掛け橋になりたいと思うようになり、日本に留学しました。



うれしさで不安の中で始まった留学は、予想通り失敗の連続でした。一番困ったことは言葉の問題で、研究室の友達との会話をはじめ、ゼミの内容も聞き取ることが出来ませんでした。

自信を失いかけたこともありましたが、後戻りは出来ない、前向きにいくしかない」と自分に言い聞かせ、大変でしたが最初の一步を踏み出しました。日本語の授業に出て、テレビやアルバイトの同僚との会話で日本語に触れ、やっと日本語が通じることがになりました。

しかしこれらはほんの手始めに過ぎず、

アメリカ留學生活

MIYAKO
KURAKAMI

倉上

京

生活環境学部 生活環境学科
食物科学専攻 四回生

私は現在、派遣交換留學生として、アメリカのカリフォルニア州にあるMISIS大学で学生生活を送っています。学内は緑があふれ、とてもきれいで落ち着いた雰囲気です。

私は学内の寮にルームメイトと一緒に住み、授業は主要科目三科目と音楽、体育をとっています。

授業に関してはクラスによって異なりますが、講義クラスでは、だいたい一回の授業で約50〜80ページ進み、授業の前半で教授が説明し、後半でビデオを見ています。ディスカッション形式のクラスでは最初にビデオを見て、その後、ディスカッションを行います。



ルームメイトと彼女の妹と

大学院でより専門的な勉強をするという、さらなる大きな困難が私を待っていました。思っていた通り、困難が次から次へやってきました。まず、英語の教科書を使った毎週のゼミの予習、発表を日本語ですることは、中国からきた私にとって難しい問題でした。準備には多くの時間をかけなければなりませんでしたが、現在では英語の文章を訳すことにも慣れ、ゼミ中の先生の説明も聞き取れるようになりました。

雑誌の輪講はさらに大変でした。内容はより専門的で、発表するためのレジュメ作りもとても苦労しました。レジュメを完

英語に関しては、留學生用の英語の授業が週に四回あり、日本人、韓国人、ネパール人、中国人と一緒に学んでいます。内容は、リーディング、ディスカッション、ライティング、グラマーです。留學生メンバーとは、ほぼ毎日顔を合わせ、時に、英語力、外国で生活することの悩みなどを共有するので、とても仲良くなりました。

私が気づいた日本の大学の授業との違いは、学生が一人も授業中に寝ていないこと、食事をしながら授業を受けていること、教授がほとんど板書せず、ビデオなどの視覚的な道具を用いることなどです。授業外としては、同性愛、ハリケーンカトリーナ、ネイティブアメリカンなどがさま



感謝祭にて
ルームメイトの家族と

成させるのに、多くの時間を費やしましたが、優しい先生の丁寧な指導、周りの友達への助けがあったので、諦めずやりとげられました。

いろいろな困難がありますが、これからも諦めずに進んでいきたいと思っています。
人生はチャレンジ！



ざまな集会在、それぞれの団体によって、学内では毎日行われています。ジムも併設されているので、走ったり、泳いだりもできます。大学からバスで約30分でサンフランシスコに行くことができ、買い物や観光、運動を楽しむことができます。サンフランシスコはいろいろな人種が住んでいる街なので、食べ物もいろいろなところでとても刺激的です。また中心部からすぐ近くに海や、きれいな町並みが広がっているので、歩くだけで心が和みます。

留学して、日本とアメリカ、両方の良いところも悪いところも見ることで、視野が広がったことが良かったと思います。残りの学生生活も頑張りたいと思います。



寮の部屋でルームメイトと

心のふるさと

AKIKIKO
SHIMADA

島田(旧姓/増田)亜季子

文学部 国際社会文化学科
古代文化地域学専攻 平成十三年卒業
市役所

近鉄奈良駅から新薬師寺へ向かい、お蕎麦を食べ、春日大社近くの小径を通り、東大寺二月堂から古都奈良の町並みを臨む。奈良女子大学へ向かい、記念館や文学部棟を眺め、英国スタイルのカフェで優雅なひとときを過ごし帰路へ。これが今も愛用している私の奈良散策定番コースです。

大学時代はよく授業の空き時間を使い、周辺の史跡や博物館に足繁く通っていました。通学時間が二時間ほどかかることもあり、今思えば、毎日が遠足のような気分でした。



北陸への研修旅行(大学3回生)



卒業後に同じ専攻の友達と奈良へ

大学の授業も机上の学習だけではなく、周辺の史跡や博物館へ実際に足を運び、本物を観る目を養う実践的なものが充実していたように思います。

学生と先生方との距離が近く「アットホームな雰囲気」で、先生方の研究室でたわいのないおしゃべりをするのも楽しみの一つでした。学生同士も非常に仲がよく、卒業後も同窓会を開いたり、奈良で遊んだりと旧交を温めています。

仕事で大変なことがあっても一緒に卒論を執筆した仲間のことを思い出すと元気が湧いてきます。今でも奈良に行くときの頃を思い出し、ほっとします。大学時代を過ごした奈良は私にとって心のふるさとです。

今までも、これから

NAOKO
OGITA

荻田(旧姓/加藤)尚子

大学院 人間文化研究科 博士前期課程
情報科学専攻 平成十三年修了
独立行政法人海洋研究開発機構

大学に四年、大学院に二年、合計六年を奈良女子大で過ごした。楽しい有意義な六年間だった。

私が情報科学科を専攻したのは、地球環境に興味があったからだ。中学、高校の頃は大学は地学科に進もうと思っ

ていたのだが、奈良女子大学情報科学科を紹介する「人工衛星からの地球観測データの解析を中心に、地球環境問題に取り組んでいる」という一文に惹かれた。環境を破壊しない為には節電、節水、省エネ生活が一番、と思ってい

たので、ハイテク機器を駆使して地球環境の研究をしている、というのは高校生の私にとってはまさに天地がひっくり返ったかのようだった。

理学部に進もうと思いついた。なんとか学、理科が最も苦手だった。なんとか

必死に勉強して大学受験を乗り越えたものの、大学に入ってから必修科目は数学の授業が多かった。あつという間に月日は流れ、三年生の終わりには就職活動が始まった。当時は四年生から研究室に配属で、まだ地球環境について何も学んでいなかった。

悶々としながらも就職活動が続けていたのだが、このまま就職していいのだろうか、まだ何も学んでいないじゃないか、と思い大学院に進学した。研究室に配属となつてからのフィー

ルド観測はとても楽しかった。時に吉野の山に登り、ある時は奈良公園で鹿に見守られながら分光反射計で芝を測定したり、百葉箱の作成もした。

卒業後は一年間民間の気象会社へ就職した後、現職へ就いた。海の観測、研究をしている研究所でアルゴ計画を推進するグループに所属し、データ処理の仕事をしている。

フィールドは陸から海へ変わったが、あいかわらず、地球環境に携わる事ができて、日々勉強、楽しい日々である。

意思あるように道はどける

村上 幸

大学院人間文化研究科 博士前期課程
人間環境学専攻 平成十一年度修了
松下電器産業㈱ システム創造研究所
戦略デザイン研究室



SACHIKO
MURAKAMI

「どんなに疲れていても、ここに帰れば大丈夫と思える、心からほつとできる場所を作る人になりたい」と思い、設計士を目指して奈良女子大学に入学しました。ところが二回生になり製図の授業が始まった時、一気に視界が真つ暗になりました。「これでは設計士にはなれない」

現在は家電メーカーで、事業価値ブランド価値の向上を実現する新規事業創造に取り組んでいます。常に「役に立つ、ほつとできる、幸せを感じられる」ものづくりをしたいと思いついています。手段は変わりましたが、今も実現したい目標は変わっていません。

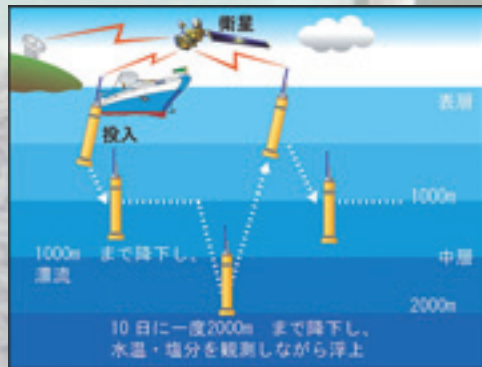
その時まで私は自分の立体構成能力の低さに気付いていませんでした。卒業後、設計士になった同級生達は一本の線すら私のもとは違っていました。

もっと早い段階で広く周りを見ていれば、他の道に進んでいたかも知れません。しかし改めて周りを見渡してみると住環境学で学べることは非常に多く、興味を持つて取り組むことのできる「環境工学」に出会えました。

また、いつも心に留めている言葉があります。卒業する際に「卒業・修論を頑張つて仕上げましたね。でも、社会人になつたら卒論が毎月、修論が数ヶ月に一回ずつあると思つていなさいね。」との言葉を先生から頂きました。現在、言葉の意味を痛感すると共に、この言葉を頂いていたからこそ、乗り越えられたことも多かったといつも感謝しています。



修士論文

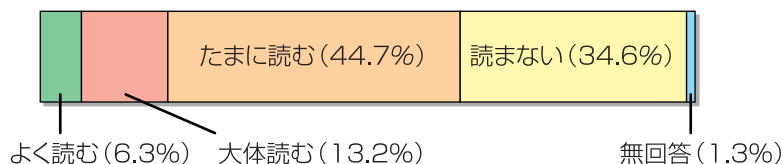


アルゴ計画：アルゴフロートと呼ばれる自動観測小型ロボットを用いて、全世界の海洋の状況をリアルタイムで監視・把握するシステムを構築する国際プロジェクト。
http://www.jamstec.go.jp/ARGO/J_ARGOj.html

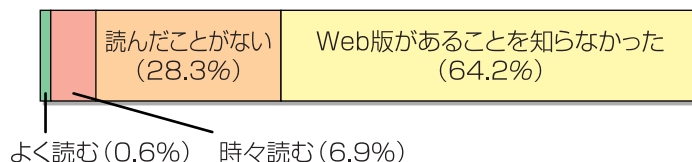
学園だより読者アンケートの結果から

9月から11月にかけて学園だよりの読者アンケートを行い、159名の学生・教職員の皆様から回答をいただきました。今回のアンケートの結果から、「学園だより」が多くの学生・教職員の皆様に読まれてはいるものの、Web版の存在が知られていなかったり、配布方法の改善が必要であるなど、数多くの貴重なご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見をもとに今後の紙面づくりに生かしていきたいと考えていますので、これからも「学園だより」についてアイデアやご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

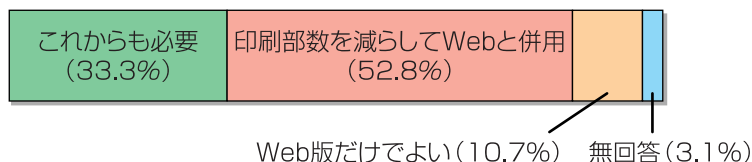
A. 「学園だより」を読んでいますか？



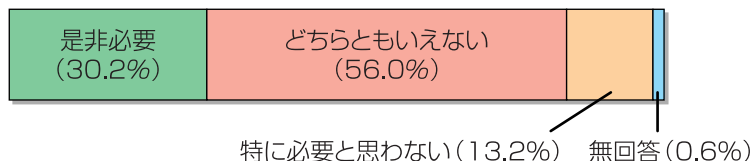
B. 「学園だより」をWeb版で読んだことがありますか？



C. 「学園だより」を冊子で配布することをどう思いますか？



D. 「学園だより」は、これからも必要と思いますか？



E. 「学園だより」の内容や紙面の改善のためにご意見やアイデアを自由にご記入ください。

(主な意見)

- 実家の母が大学の様子がわかると楽しみにしている。これからも配布してほしい。
- 他の研究室でどのような研究をしているのか研究室単位でとりあげたら面白いのでは。
- 学生の課外活動・サークル活動の紹介があれば。
- 奈良の町についての記事があると楽しいと思います。
- 就職に関するものを増やしてほしい。
- 卒業生の寄稿を読みたい。クラブ紹介や学生をもっと登場させてほしい。
- 学生生活の様子や取り組みなど、他大学や保護者にアピールできるような内容も取り入れてほしい。
- 大学周辺のニュースなども取り入れたら。新しい授業の紹介とか。
- 奈良女周辺のおいしいお店や遊ぶスポットを載せてほしい。
- 環境のことを考えると冊子にすると紙資源がもったいないので、Web版をもっと宣伝してWeb版のみにすればよいと思います。
- 開いてみると、卒業生からの言葉や在学生の体験談など、参考になる興味が持てる内容なので、開く機会があれば読む。
- もっと目立つ場所においてほしい。
- 卒業生の寄稿のページをもっと増やしてほしい。

就職内定状況（中間集計）

今年の就職環境は、「売り手市場」と各報道から報じられていますが、各社の選考基準に軟化の傾向が見られるものの、無理をしてまで数を追いかけるという採用スタンスではありません。あくまでも一定の基準を保ちながら、一人でも多くの人材を獲得したいということには変わっていません。この傾向は未上場企業や理系の採用数が多い製造業などに顕著に現れている一方で、上場企業においては大きな変化が見られません。大手志向の学生が増える中、上場企業がそう大きく基準を下げていないので、自分たちにとって環境がよくなっているという認識に囚われすぎて就職に対する準備不足や、人気の業界ばかりを狙って活動した結果、内定を獲得できなかったということがないようにしたいものです。

ある就職情報誌に、次年度以降に取り沙汰されそうな特徴や傾向として次のことが挙げられていました。

1. 大学全入時代の到来とともに学生の卒業生数は増加するものの、選考基準は極端に落ちないことが予想されるため、発表される求人倍率よりも実質的な競争倍率は高止まりになる。
2. エントリー母集団形成の苦戦に伴い、企業の情報公開やエントリー受付はより早くなる傾向に。
3. 効率化により大都市圏中心の採用を展開していた企業などが、より多くの可能性を求めて各地域の大学生に対するアプローチを更に増していく傾向に。
4. エリア総合職に代表されるように、仕事や働き方に対する価値観にあわせた職種や制度を用意し、女性の積極採用が進むようになる。

「育児休暇を含めた福利厚生面での制度とその運用」、「本当に女性が力を発揮して働ける職場であるかどうか」などをしっかりと見極めて企業を選択していきたいものです。

以下は、平成19年3月卒業・修了予定者の平成18年11月30日現在の就職内定状況（中間集計）です。

平成18年度卒業・修了者の産業別就職内定先企業名一覧（中間集計）

【学部】

（ ）内は、複数内定者の人数

産業分類	学部	文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部	
建設業		熊合組	NECネットエスアイ	パナホーム(2)、大和ハウス工業(2) コスモスモア、大成建設、ミニネット	
	製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料 た ば こ ・ 飼 料		味の素冷凍食品	日本製粉、神戸屋(2)、浜乙女、近畿コカ・コーラボトリング 小倉屋柳本、ケーニヒス クローネ(2)
繊維工業 衣服、その他繊維製品				エル・ローズ、レナウン	
印刷・出版、関連連業			大日本印刷(2)、凸版印刷		
化学工業、石油・石炭		ノエビア	再春館製薬所、ホーユー、コシブレザービング、シェリング・ブラウ	四国化成工業、アストラゼネカ、菅田香料、日本ケミファ	
鉄鋼業・非鉄金属、金属製品				YKKAP、ナカ工業	
一般機械器具		森精機製作所		ダイキン工業、キヤノン	
電気・情報通信機械器具			NKE、日立製作所、三菱電機	日立製作所、松下電工、松下電器	
電子部品・デバイス			東芝セミコンダクター社、京セラ		
輸送用機械器具		本田技研、ハイレックスコーポレーション	日産自動車(2)	豊田自動織機	
精密機械器具					
その他	呉竹		東陶機器、クリナップ、クロバー		
電気・ガス・熱供給・水道業					
情 報 通 信 業 (通信・マスコミ・情報処理)		数研出版、小学館、 ソフトバンクモバイル エヌ・ティ・ティ・コム北陸 西日本電信電話(2) 中央出版、サンマーク出版 住生コンピューターサービス コベルコスシステム セック、クレスコ、中央情報システム 日本コムシンク、UFJIS 総合プランニング	西日本電信電話、日本アイ・ピー・エム 日本総合研究所、松下システムソフト 三菱スペース・ソフトウェア 住生コンピューターサービス(2) エヌ・ティ・ティ・データ関西 京セラコミュニケーションシステム 三菱電機情報ネットワーク、ユーフィット 日立システムアンドサービス(2) デンソーアイセム、エイジシステム 新明和ソフトテクノロジー、毎日コミュニケーションズ	東レACS 松下電工インフォメーションシステムズ ウイロコム 西日本電信電話 アイネス 日本システムディベロップメント オージス総研 デンソーアイセム 東京三菱インフォメーションテクノロジー スミリンCADシステムズ	
	運 輸 業	西日本旅客鉄道、ANAエアサービス福岡 JALスカイ関西、名古屋観光日急	西日本旅客鉄道	西日本旅客鉄道	
	卸 売 業 小 売 業	卸 売 業	日立機材、アスワン、デサント、ワルツ 平八、ハピネット、阪急産業	三菱電機ビジネスシステム オービック、宮地電機	クリニコ、シンコール シンコー、エドウィン
		小 売 業	ロフト、ジェイアール西日本伊勢丹、三貴、三洋堂書店 パロー、フジ、マックスバリュ西日本、平和堂 Wasseコーポレーション	スズキ自販奈良 ファミリーマート	ラガゾット、大丸、ネットランドジャパン ロック・フィールド、そごう、虎屋 生活協同組合コープこうべ、赤塚植物園

【学部】

()内は、複数内定者の人数

産業分類	学部	文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部
金融・保険業	金 融 業	南都銀行、泉州銀行(2)、滋賀銀行(2)、みずほ銀行 大阪市信用金庫、大阪信用金庫、西尾信用金庫 百五銀行、アステム	大垣共立銀行(2)、三菱東京UFJ銀行、滋賀銀行 みずほ銀行、みずほ信託銀行、新光証券	常陽銀行、三井住友銀行、南都銀行(2) 滋賀銀行、百五銀行、大和証券、岡三証券
	保 険 業	日本生命、第一生命	日本生命、富士火災海上	三井住友海上火災、千葉県民共済生活協同組合
不動産業		長谷エライブネット、OPA、銀泉		静岡鉄道
飲食店・宿泊業		中の坊 有馬グランドホテル ホテルグリーンプラザ、ホロニック	休暇村協会	すかいらーく
学教 支援	学 校 教 育		リンゴスクール、河合塾	
	その他の教育、学習支援事業	ウィルウェイ		
複合サービス事業			日本生活協同組合連合会	
サービス業	宗 教	春日大社	創価学会	
	そ の 他	トップツアー、ニッコウトラベル スタッフサービス、イマテヤ 長島観光開発、メディアハウス	NECエンジニアリング、リコーテクノシステムズ 日本食品分析センター、日本旅行 日本化学繊維検査協会、日本コンベンションサービス アルプス技研	日本食品分析センター、阪急交通社、パソナ、コムスン 日本化学繊維検査協会、JTB大阪、JTB九州 サイエンス、タケツー、共立コミュニケーションズ 静銀ビジネスクリエイト
公務	国 家 公 務 員	大阪税関		中部地方整備局
	地 方 公 務 員	奈良県庁、富山県教育委員会、滋賀県教育委員会 京都府教育委員会、大阪府教育委員会(2) 和歌山県教育委員会、名古屋市教育委員会		

【大学院博士前期課程】

()内は、複数内定者の人数

産業分類	専 攻	国 際 社 会 文 化 学 言 語 文 化 学 人 間 行 動 科 学	数 学 物 理 科 学 化 学 生 物 科 学 情 報 科 学	生 活 環 境 学 人 間 環 境 学
漁 業				
製 造 業	食料品・飲料・たばこ・飼料		丸大食品	カゴメ、武田キリン食品
	繊維工業、衣服、その他の繊維製品			
	化 学 工 業		東レ、本州化学工業、小林製薬	クラレ、常盤薬品工業
	石 油 ・ 石 炭		クラブコスメテックス、ニッタ、富士フィルム	
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品		住友電気工業(2)、尾池工業	
	一 般 機 械 器 具		ダイキン工業、アルバック	日機装
	電 気 ・ 情 報 通 信 機 械 器 具		富士通テン(2)、東芝、三菱電機(2)、タイガー魔法瓶 日本ヒューレット・パッカード、富士通	
電子部品・デバイス 精 密 機 械 器 具		村田製作所 テルモ		
そ の 他		日本特殊研砥		
情 報 通 信 業 (通信・マスコミ・情報処理)	富士ゼロックスシステムサービス	日立システムアンドサービス、松下システムソフト 富士通ビジネスシステム	日本アイ・ピー・エム、サミットシステムサービス 新風舎、スミリンCADシステムズ	
卸 売 小 売 業	卸 売 業			日本水産
	小 売 業	思文閣		
医 療 福 祉	医 療 業 ・ 保 健 衛 生		シミック	
	社会保険・社会福祉・介護事業			
学教 支援	学 校 教 育			京都産業大学付属中学校・高等学校
	その他の教育、学習支援事業			
複合サービス事業				日本生活協同組合連合会
サービス業	そ の 他	日本芸術文化振興会、国際協力機構	住化分析センター、ハイテック	日本食品分析センター
公務	国 家 公 務 員		東京国税局、広島国税局	
	地 方 公 務 員	名古屋市教育委員会	東京都教育委員会	大阪府教育委員会(2)、大府市役所

体育系

■ソフトテニス部

①23人②月・木16:30～、土13:00～
学内テニスコート③月500円④経験者・
初心者問わず楽しく元気に練習しています。
コーチが丁寧に指導してくれるのでぐんぐ
ん上達できます。個性豊かな部員と一緒に
ソフトテニスを楽しんでみませんか?コート
までは是非!!見学に来てください♥♥♥

■卓球部

①10人②水・金16:30～、土13:00～
③前後期各500円④私達は学年をこえて
仲が良く、みんなで目標に向かって練習に
励んでいます。昨年の近畿地区国立大学
体育大会では優勝することができました。
大学から始めた人も多く、初心者経験者問
わず大歓迎なので、一度来てみてください。

■なぎなた部

①8人②火・木16:30～、土9:30～③月
500円④部員は少ないですが、みんなで
仲良く活動しています。部員の半数以上
が大学から始めた初心者ですが、卒業まで
に二段を取ることもできます。袴をはいて
のお稽古を通して有意義な大学生活を送っ
てみませんか?

■バスケットボール部

①13人②毎週月・木16時半～19時、土
9時～12時③毎年5,000円+登録料
3,000円④バスケが大好きという方、大
歓迎です。時に楽しく、時に厳しく私達と
一緒にバスケをしましょう。プレイヤーは
もちろん、マネージャーも大大大歓迎です。



■硬式テニス部

①22人②火・水16:30～、土9:00～12:
00(日9:30～15:00)③入部金1,000
円、部費1,000円④硬式テニス部では大
学から始めようという初心者の方も、先生
や先輩方の丁寧な指導によりどんどん上
達できます。もちろん経験者も今まで以
上にテニスを楽しめるはず!!個性豊かな
部員とテニスも、イベントも楽しみましょ
う。ぜひ一度テニスコートへお越しください。

■サッカー部

①6人②毎週土曜日13時半からグラウン
ドにて練習③月500円④私たちサッカー
部は、現在6名しかいませんが、サッカー
をこよなく愛する人たちのネットワークを
通じて、様々な場所でサッカーを楽しんで
います。ちなみに現在も新入部員募集中
です!!!

■水泳部

①4人②シーズン中、月火木金で2回以上
③0円④Enjoyをモットーに、自己ベストを
更新できるよう日々練習に励んでいます。
奈良教育大学と合同練習をしているので
友達2倍、先輩2倍!!他大学との交流も盛
んなので輪が広がります。初心者も経験
者もマネージャーも大歓迎☆

■スキー部

①15人②シーズンオフは週2回、シーズ
ン中は白馬で合宿、居候、夜間瀬で大会。
③2回生から年1回1万円。④白銀の世界
でのスキーは最高に気持ちいい!!部員全
員がシーズンを通してスキーにハマって
ます☆もちろん初心者大歓迎!!私達と一
緒にスキーを楽しみながら、技術の向上に
励み、スキー馬鹿になっちゃおう!!

■合気道部

①33人②毎週火・木曜17時半～第二体
育館、金曜18時15分～鴻ノ池道場にて
③月1,600円(offの月は無し)④合気道は、
体一つで出来る武道です。しなやかな体
の動きによる、美しく力強い身体表現の
一つです。運動未経験者でも、全く問題あ
りません!!興味があっても始められなか
った武道を、貴女もやってみませんか!?

■アイススケート部

①5人②土10時～13時③部費500円④
現在、甲南・大府大・同女さんと合同練習
しています。他大学の人も同じリンクで練
習しているので、友達がたくさん出来ます。
好きな曲をかけて広いリンクでジャンプを
飛んだりスピンを回ったりするのは、本当
に楽しいです!!

■弓道部

①23人②毎週火・木16時半～、土9時半
～③毎月1,000円④弓道は老若男女問わ
ず楽しむことができるスポーツです。形の
美しさと矢を放つ心地良い緊張感、他の
スポーツにはない楽しさです。初心者でも
段をとることも可能です。興味を持った人
は弓道場まで来てくださいね♪

■剣道部

①11人②月・土第二体育館、木第一体育
館③月1,000円④私達剣道部は、週3回
稽古に励んでいます。経験者はもちろん、
初心者でも大歓迎です!大学から始めた
人は卒業までに二段をとれます。私達と一
緒に剣道部で、楽しく充実した学生生活を送
りましょう!!

文化系

■E.S.S

①36人②全体活動は月、木の放課後と火、金の昼休み③入部時1,500円、年間4,500円④英語でディベートやディスカッションやスピーチやドラマをすることを通して、英語力の向上をはかっています!!大学内だけでなく他大学との合同キャンプなど他大学との交流をする機会も多く、良い刺激をたくさん受けることができ、人間的にも成長できます♪

■演劇部

①5人②学館3F和室で毎週水・金③公演ごとに④役者がやりたい、台本が書きたいという人から、音楽が好き、絵を描くのが好き、整理整頓が好きな人まで、演劇部ではあらゆる人を募集しています。まずは覗きに来てみてください。やりたい事や活躍できる場が見つかるはずですよ。

■華道部「花こみち」

①20人②月3回程度月曜日17時～中集会室③お稽古代1回1,600円④部員のほとんどが初心者ですが、先生が優しく一から指導してください。部の雰囲気も和気あいあいとしていて、楽しく活動しています。体験もできるので気軽に見学に来てください。

■競技かるた部

①11人②月・火の放課後活動、大会への参加③月250円④競技かるたとは小倉百人一首を使って札をとる、畳の上のスポーツのようなものです。練習次第ではすぐに段もとれます。みんな仲良くマイペースに活動しているので、興味のある方は是非見に来てください!初心者も歓迎!

■ボディフィットネス部

①12人②毎週火・木・金の放課後③ヨガマット3,000円のみ④昨年からの活動を始めました。健康的で美しい体づくりのために、ヨガやピラティスをやっています。歩き方講座もやっています。参加できる曜日だけ参加もOK☆ぜひ見学に来てください(*^v^*)

■モダンダンス部

①18人②毎週月・金16:30～第二体育館③月1,000円④創作ダンス、ジャズダンスを軸に様々なダンスに取りくんでいます!!プロのレッスンも受けられます☆公演会・学祭などイベントも盛りだくさん、楽しい大学生活になること間違いなし!!初心者大歓迎です♪♪

■ラクロス部

①28人②月・火・木16:30～、土9:00～③毎月1,000円④大学に入って何か始めたいと思っている方、絶対ラクロスがオススメです!部員みんなとっても仲良しで、かつ練習は真剣。最高の大学生活になるでしょう。是非いろいろな体験・イベントにご参加ください☆

■陸上部

①15人②月・水・金③なし④走ることが好きという方、ぜひぜひ陸上部へ!!経験者を問わず、楽しく活動しています。大会にむけて練習したい方、奈良の景色を楽しみながらジョギングしたい方、大歓迎です。みんな自分のペースで練習できますよ。一度見学に来てみてくださいね!!



■バドミントン部

①14人②月・水は16時半から、土は13時から③月1,000円④部員はみんな仲が良く、リーグ昇格を目標に自分たちで練習を工夫しながら元気に活動しています。部内には経験者も未経験者もあり、お互いを刺激し合えるよい環境です。一度体育館へ足を運んでみてくださいね♪

■バレーボール部

①10人②火・金・土第一体育館③月1,000円④「楽しくバレーをする」をモットーに春と秋に開催されるリーグ戦に向けて、日々練習に励んでいます。初心者もちろん大歓迎!私達と一緒にバレーボールを楽しみましょう。一度気軽に練習を見に来てくださいね!お待ちしております!

■ハンドボール部

①19人②毎週火・金16:30～第一体育館③毎月500円④部員の半分が初心者!みんな教えて仲良く練習してます。「ハンドボールってどんなスポーツ?」という方、もちろん経験者の方、どなたも大歓迎です!ぜひ一度、練習を見に来てくださいね☆

■舞踊部

①13人②毎週月・水・木16:30～③月300円④クラシックバレエを基礎に創作ダンス・宝塚など様々なジャンルを楽しく踊ります♪初心者大歓迎!部員皆が和気あいあいとし、いつも笑顔があふれています☆気軽に体験入部に来てください!又照明・音響・衣装のスタッフさん大募集!!



■みどり組

①14人②週1のミーティングと活動方針に基づいて月1もしくは季節毎に色々な企画をたてます③活動毎に徴収。少なめです。④作って2年のサークルです。自然や四季を感じることを、自分たちが元気になれるようなことを企画していきます。

■わかたけ会

①14人②MT:毎週火・金昼休み、プレイ:日曜(月1回)③交通費のみ④京都府八幡市の軽障害をもつ小学生と遊んでいます。一緒に企画からしませんか。また、有志で他の施設にも行っています。ボランティアに興味のある方は、ぜひ一度プレイを体験しにMTに来てください。

■教育問題研究会

①10人②週2回の例会、長期休暇(春・夏休み)中の合宿③月500円④名前はカタいですが、皆でワイワイと楽しくやっています。深刻化するいじめ問題や、「教員免許更新制」にかけた政府の狙いは?など、教育に関することなら何でもやります。気軽に来てみてね。

■社会科学研究会 葦の会

①10人②週2回の例会、フィールドワーク、合宿、学園祭での展示・講演会③月200円④私たちは今起きている様々な社会問題について研究をしています。昨年は「戦争と貧困の世界化」をテーマに、皆で話しあってきました。社会を知るなら葦の会。お待ちしております。

■恋都祭実行委員会

①14人②月・金曜の昼ミーティング③なし④恋都祭実行委員会、通称コトジツは、奈良女最大のイベント・恋都祭を盛り上げ、成功させる為、日々頑張っています。楽しく、楽しく、時に真剣に活動中。更に、社会勉強にもなります。面白いメンバーに逢いたい人はぜひコトジツへ!!

■天文部

①17人②火曜日③毎年1,000円④毎週火曜日の昼休みに学館3階にてミーティングを行っています。夏休みや春休みには合宿も行います。また、他大学天文部との交流もあります。学園祭ではプラネタリウムをします。星好きな人、星にくだしい人、是非、奈良女子大学天文部へ。

■点訳部

①10人②週1回程度③なし④毎年部員の都合の合う曜日の放課後に集まり、点字の練習をしたり、盲人会との手紙のやりとりをしています。夏休みには片道交通費のみで2泊3日の合宿があります。兼部も可。のんびり仲良くやりたい方、ぜひ遊びに来てください。

■美術部

①8人②月始まりの月曜+不定期③なし④絵でも彫刻でも自由にどうぞ。皆で美術館に行ったり、スケッチにお出かけしたりもします。恋都祭では作品展をしています。部の掲示板では小作品リレーをしていますので、よろしければ見に来てください。

■文芸部

①16人②月一回の部誌発行③なし④文字を綴る楽しさに触れてください。短編・連載・詩・レビューなどジャンルは自由です。お待ちしております!(HPで部員の作品が読めるようになりました↓)
<http://voices.huruike.com/>

■漫画研究会

①56人②火・金曜日16:30~③入会金1,000円、前後期各1,000円④通常学館「大和」に集まって活動中。年4回部誌を発行し、学園祭ではイベントを開催しています。マンガやアニメやゲームなどに興味のある方、気軽に遊びに来てください!お待ちしております!

■キリスト者学生会

①4人②現在毎週水曜の14時40分から活動していますが、毎学期の始めに都合のいい時間を話し合っ決めて決めているので、意見を出していただければ変更することが可能です。③無料④キリスト教・聖書に興味のある方、クリスチャンの方、どなたでも結構ですでお気軽に♥

■古美術研究会

①38人②例会、年2回合宿、月1回遠足、寺社の年中行事への参加等③未定④奈良や京都の寺社や祭りを見学するサークルです。とても自由な雰囲気の中で、一人一人が楽しんで良い経験ができることを大切にしています。興味のある方は是非気軽に参加してみてください。

■茶道部

①27人②火曜昼休みにミーティング、木曜にお稽古。10月に秋茶会③3,000円④毎週学内和室にて3人の先生方に教えて頂いています。大学から始めた部員も多く、初心者の方も気軽に参加できます。茶道に少しでも興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。

■写真部

①5人②個人での撮影活動(暗室は自由に使用可)月に数回行うミーティングで各自の作品を見せ合う、写真展など③前後期各1,000円④写真が好きな方、ぜひいらしてください。そして写真を焼く素晴らしさを体験しましょう!あなたの写真ライフ、始めてみませんか?

■書道部

①21人②毎週月曜日学館3階和室にて③前後期各5,000円程度④主に春と学祭での書展、学書展への出品を行い、その他拓本とりや文部科学省認定の書写検定も行っています。自由に作品を作ることもできます。毎回先生が来て下さり、丁寧な指導が受けられます。経験は問いません。是非気軽に遊びに来て下さい。

音楽系

■箏曲部「飛鳥会」

①17人②ミニコンサート(春)定期演奏会(秋)
③1ヶ月750円④毎週木・金曜日に先生にお稽古をつけて頂いています。初伝・中伝・奥伝とお免状も頂けます。また、2回生からは三味線も習えます。5月には講堂でミニコンサートを開くので、是非いらしてください。

■能楽部 観世会

①14人②毎週火・木16:30~③月2,000円④伝統芸能の能楽を実践するクラブです。仕舞・謡などを、プロの能楽師のご指導のもとで練習しています。部員はみんな仲よしで楽しく活動しています。古都奈良で伝統芸能に触れる貴重な体験をしてみませんか?

■piano-forte

①29人②週1回ミーティング、恋都祭での出店、定期演奏会③前後期各3,000円④冷暖房完備の個室がいくつかあり、好きなときピアノを楽しむことができます。ピアノを弾くことが好きな方は是非一度ミーティングへ。
http://www.geocities.jp/pianoforte_narajo/

■ギターマンドリンクラブ

①36人②月・水16:30~19:00(演奏会前は土曜日活動します)③月1,000円④関西学生マンドリン連盟のコンサートや定期演奏会に向けて練習します。ほとんどの人が初心者から始めたので、楽器経験のない人でも大丈夫です。学部・学年を越えた仲間たちと楽しく演奏しましょう!

■軽音楽部

①22人②火曜昼休みのミーティング、年4回LIVE③月1,000円④部員のほとんどが初心者スタート!!誰でも気軽に始められます。他大学との交流もたくさんありますよ☆みんなで楽しく仲良く頑張っています!!音楽好きの貴方!!一緒に素敵な音楽LIFEを☆☆

■Jazzy Club

①34人②火・木曜音楽棟にて③入部費1,000円+前後期各2,000円④経験者・初心者問わずみんなで楽しくJazzを演奏しています。ビッグバンドからボーカル曲まで色々な曲を楽しめます。楽器をやりたい人、歌いたい人、Jazz好きな人はぜひ来てください!

■音楽部

①17人②毎週月・水・金の17:30~19:30③月1,500円④音楽部とは女声合唱のサークルです。合唱コンクールや毎年12月に行う定期演奏会に向けて、先生の御指導の下、楽しく歌っています。初心者・経験者問わず大歓迎ですので是非見に来てください。

■管弦楽団

①50人②スプリングコンサート、定期演奏会、依頼演奏、合宿など③月額2,000円④初心者、経験者を問わず皆で仲良く楽しく練習しています!プロの先生をお招きして指導を受けるので、腕も上達しますよ♪ホームページも見てね!
<http://www.geocities.co.jp/Hollywood/8002/>



奈良県インターンシップ

平成18年10月7日(土)に本学講堂で平成18年度奈良県インターンシップ制度の事後研修会・認定証授与式が開催され、今年度の県インターンシップ制度の全スケジュールが終了しました。

今年で8回目を迎えた奈良県インターンシップ制度は、奈良県経営者協会、奈良県工業会などの産業界と奈良労働局・学生職業相談室などの行政機関並びに県内の大学で構成される奈良県インターンシップ運営委員会が実施するもので、県内における産官学の連携のもとに行われる就業体験です。

今年は、県内10大学と近府2大学から236名の学生が参加し、本学からは47名の参加者がありました。6月3日(土)の実習希望企業・団体との面接会、6月24日(土)の事前研修会を経て、夏季休業期間中の10日間に77の企業・官公庁等での就業体験を終えました。



事後研修会での班別発表会の様子1

10月7日に行われた事後研修会の班別発表会では、インターンシップ実習に参加した学生一人ひとりが実習で得た成果や感想を発表するなど意見交換を行い、それぞれの経験を共有する場を持ちました。班別体験発表会に続いての認定証授与式では、本学井上副学長の開会挨拶に始まり、奈良労働局職業安定課長、奈良商工会議所事務局長、奈良工業会専務理事から来賓祝辞



事後研修会での班別発表会の様子2

があった後、全実習生を代表して大阪樟蔭女子大学、奈良産業大学の2名に認定証が授与され、天理大学、畿畿大学、奈良女子大学の3名から体験発表が行われるなど、企業や公務員に対する認識を深め、職業意識を育成し、目的を持って就職活動に臨む絶好の機会を持ちました。



事後研修会での代表体験発表の様子

参加できるのは学部2・3年生ですが、在学中から職業観やキャリア形成力を養う良い機会です。来年度は是非あなたも参加してみたいいかがですか。

第48回佐保会奨学金授与式

去る12月6日(水)に第48回佐保会奨学金授与式が本学人間文化研究科会議室で行われ、15名に賞状並びに奨学金が授与されました。



佐保会奨学金は、本学卒業生を組織された社団法人佐保会が、昭和34年に母校の生駒佐保会理事長と久米学長を囲んで記念撮影創立50周年記念事業の一環として募金した基金により設けられました。

なお、平成6年には、本学卒業生 故 溝上泰子殿(奈良女子高等師範学校家事科昭和2年卒業)のご遺志により、新たに「東南アジア留学生」を対象とした区分も設けられています。

<今回授与された15名>

文学部	国際社会文化学科	4回生	太田 早織
文学部	人間行動科学科	4回生	鈴木 亨奈
理学部	化学科	3回生	山下 梓
理学部	生物科学科	4回生	森 里美
生活環境学部	生活環境学科	4回生	小幡 藍
生活環境学部	人間環境学科	4回生	藤澤 美幸
人間文化研究科 博士前期課程	国際社会文化学専攻	2回生	加末 奈奈
人間文化研究科 博士前期課程	言語文化学専攻	2回生	佐々木 和美
人間文化研究科 博士前期課程	物理科学専攻	1回生	阿部 啓
人間文化研究科 博士前期課程	化学専攻	1回生	神岡 裕子
人間文化研究科 博士前期課程	生活環境学専攻	2回生	中原 佳代子
人間文化研究科 博士前期課程	人間環境学専攻	2回生	林 怡秀
人間文化研究科 博士後期課程	社会生活環境学専攻	3回生	菊地 真理
人間文化研究科 博士後期課程	複合現象科学専攻	3回生	池田 奈生
人間文化研究科 博士前期課程	国際社会文化学専攻	2回生	マイチンガ

外国人留学生による日本語スピーチ大会及び学長主催留学生懇親会

平成18年11月9日(木)午後4時30分から、外国人留学生による日本語スピーチ大会が開催され、今年は中国・韓国・ドイツの3か国からの留学生10名が出場しました。出場者の中には、日本に来て間もない留学生もいましたが、それぞれが日頃の日本語に関する勉強の成果を十分に発揮していました。



今年は、中国からの留学生 秦莉さんが優秀賞に選ばれ、秦莉さんには奈良地域留学生交流推進会議による外国人留学生スピーチ大会へ、本学の代表として、出場いただくことになりました。

日本語スピーチ大会終了後は、大学会館生協食堂において、学長主催留学生懇親会が開催されました。懇親会では、留学生、日本人学生、教職員、留学生支援団体関係者等の参加のもと、新入留学生の紹介や、留学生によるオカリナの演奏、歌の披露も行われ、終始和やかな雰囲気での交流を深めました。

日本語スピーチ大会出場者名と演題

錫林其其格(中国)	「名前から異なった文化を感じた」
金 秀妍(韓国)	「私たちは本当に初めて会ったのだろうか」
林 英姫(中国)	「私の夢」
王 珂(中国)	「一期一会」
李 英(中国)	「日本の電車」
アルバートサネ(ドイツ)	「ドイツの大学の日本学の授業」
王 曉希(中国)	「中国の「紅焼」食文化」
黎明(中国)	「はじめてゆかたを着る」
莉(中国)	「すみせん-日本語の奥深さを知り、国際理解を深める」
黄 佳佳(中国)	「学級崩壊」



学生表彰

学生表彰制度による表彰式が、2月6日(火)に行われました。

この制度は、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた本学学生の個人又は団体を表彰するもので、今回は次の19名の学生と5団体が学長より表彰を受けました。



(個人)

鈴木 智業 (文学部3回生 アイススケート部)	
第26回国公立大学フリースケーティング競技会 Bクラス女子	4位
太田 早紀 (文学部1回生 剣道部)	
第32回奈良県女子剣道段別選手権大会 (三段以上の部)	3位
藤田 真理 (文学部2回生 剣道部)	
第32回奈良県女子剣道段別選手権大会 (三段以上の部)	3位
小野 梓 (生活環境学部2回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (有段の部)	3位
第20回奈良市なぎなた大会 演技大学・一般 (有段の部)	優勝
西森 千歌 (理学部2回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (有段の部)	3位
第57回県民体育大会 なぎなた試合競技 (成年の部)	2位
第57回県民体育大会 なぎなた演技競技 (成年40歳未満の部)	2位
第25回関西学生なぎなた選手権大会 個人試合 (三段の部)	3位
辺井 聖香 (理学部2回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	優勝
山本 晶子 (理学部2回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	優勝
第20回奈良市なぎなた大会 演技大学・一般 (段外の部)	優勝
松井 千佳 (生活環境学部1回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	2位
青野 唯 (生活環境学部1回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	2位
山本 美和 (理学部1回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	3位
三宅あゆ実 (理学部1回生 なぎなた部)	
第22回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 (段外の部)	3位
松村麻貴子 (理学部3回生 なぎなた部)	
第20回奈良市なぎなた大会 演技大学・一般 (有段の部)	優勝
第57回県民体育大会 なぎなた演技競技 (成年40歳未満の部)	3位
安部美希子 (理学部3回生 なぎなた部)	
第57回県民体育大会 なぎなた演技競技 (成年40歳未満の部)	2位
清家 晴子 (理学部3回生 なぎなた部)	
第20回奈良市なぎなた大会 演技大学・一般 (段外の部)	優勝
第57回県民体育大会 なぎなた演技競技 (成年40歳未満の部)	3位
丹羽 麻子 (理学部2回生 硬式テニス部)	
第30回奈良学生庭球選手権大会 女子シングルス	優勝
橋本 真帆 (理学部3回生 硬式テニス部)	
第30回奈良学生庭球選手権大会 女子ダブルス 3位、女子シングルス 2位	
小田原智子 (文学部3回生 硬式テニス部)	
第30回奈良学生庭球選手権大会 女子ダブルス 3位、女子シングルス 3位	
勇 由衣 (文学部2回生 バスケットボール部)	
平成18年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 3部 優秀選手賞	
川端 理恵 (生活環境学部2回生 弓道部)	
第19回奈良県大学選手権大会 女子個人の部	2位

(団体)

剣道部	第44回近畿地区国立大学体育大会 剣道女子団体戦の部	準優勝
	第22回関西女子大学定期戦	3位
卓球部	第44回近畿地区国立大学体育大会 卓球女子の部	優勝
なぎなた部	第25回関西学生なぎなた選手権大会 団体試合	2位
	第22回関西学生なぎなた新人戦大会 リズムなぎなた	2位
	第20回奈良市なぎなた大会 試合大学一般団体の部	3位
音楽部	第61回関西合唱コンクール 大学部門Aグループ	銀賞
弓道部	第24回奈良女子弓道大会 団体の部	3位

「廣岡奨学金」について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故 廣岡タマエ殿 (奈良女子高等師範学校理科昭和4年卒業)のご遺志による寄附金を基金とし、本学の学部学生で学業・人物ともに優秀であり、経済的理由により著しく修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を育成することを目的として設けられたもので、現在7名の学生がこの奨学金を受給しています。

この奨学金の募集は、2回生以上の学部学生を対象に毎年4月に行われます。詳しくは4月初旬に掲示によりお知らせします。

日本学生支援機構奨学金について

奨学金には地方公共団体が取り扱っている奨学金など各種ありますが、日本学生支援機構の奨学金制度は国の機関が取り扱っているものです。日本学生支援機構の奨学金には第一種(無利息)及び第二種(利息付)奨学金の二種類があります。

4月に新年度の奨学生の募集(定期)を行う予定です。また、家計急変による緊急及び応急採用もあります。その他、「在学届」の提出など、日本学生支援機構の諸手続きについても、全て学生生活課の掲示板(図書館東側)によりお知らせすることになっています。募集期間や提出期限等がありますから、自分にとって不利益にならないよう、見逃すこと無く情報を得てください。

学生相談室から

●学生相談室は、あなたのマインドスペースです。

学業や進路の不安、日常生活で困ったこと、対人関係など、さまざまな心配事について一緒に考えましょう。

話を聞いてもらうだけでも、落ち着くこともあります。

相談室はあなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。

内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

●開室日及び開室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

夏期休業期間中は月曜と木曜のみ開室

8月第3週と第4週、12月29日～1月3日、入学試験日(前期・後期)は閉室します。

上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することにより、お知らせします。

学生相談室の場所は学生会館3階です。

TEL.0742-20-3925 Eメール soudan@cc.nara-wu.ac.jp

●スタッフ

■相談受付

金 文子(月曜日・水曜日・金曜日)
岩井涼子(火曜日・木曜日)

■カウンセラー

皆藤靖子(臨床心理士)
竹村百代(臨床心理士)

■相談員

千田春彦(教員)
吉川尚男(教員)
黒子弘道(教員)



奈良女子大学
〒630-8506 奈良市北魚屋町
TEL0742-20-3235

発行日:2007年3月5日
発行:学生生活支援室
印刷所:共同精版印刷株式会社